

【水について考える】

沖縄県 山内中学校 一年 内間 くるみ うちま

みなさんは水の大切さについて考えたことがありますか。私が水の大切さに気づかされたきっかけは、台風の日でした。風や雨が強く停電しました。その上、断水したことがあります。初めて断水したため、最初は軽い気持ちですごしていたけど、二日以上水が出なかつたため、だんだん心配になりました。水がないとお風呂も入れない、顔も洗えない、トイレも流れなくなるとも大変でした。この体験があつてから水がどれほど大切なのか知りました。このような最悪な日が続くと続いて毎日この中で生活すると考えると、どれほど苦しいおもいをしているか伝わってきました。

私はこの体験をきっかけに、水の節約について考えたりすることができました。台風の時はいやだったけど、あの台風があつたからこそ水について理解することができたと思います。だから、今ではあの台風に少し感謝しています。現在、世界では水不足が深刻な問題となっています。最近の調査では世界人口の約六十六パーセントにあたる四十億人が一年のうち一ヶ月以上も安全な水を得られずに暮らしていると報告されており、従来考えていたよりも問題が深刻なことが分かりました。

では、水不足の原因はいつたい何でしょうか。気候変動、人口増加、河川の汚染などの様々な原因が考えられますが、一番大きな原因は人口増加と経済発展による水需要の伸びだという指摘があります。人間は水がなければ食糧を得ることもできません。世界人口の過半数が直面している水不足は、現在人類が解決すべき最も大きな問題の一つなのです。

それでは、人類にとってかかせない水という貴重な資源を常に確保するために私たちがすべきことは何でしょうか。

まず一つ目は、各家庭で水の節約をすることです。インターネットで調べた結果、家庭での水の使われ方はお風呂やトイレ、炊事、洗濯などがあります。どれも一人一人が意識すれば節水できます。例えば、シャワーを使うと

き、こまめに蛇口を開け閉めしたり、歯をみがくときに使う水はコップにくだりすることで水が約六〇から〇・六〇にまで使う水を減らすことができます。このように、簡単にできる節水方法をすれば水に困らなくなるかもしれません。

二つ目は、水を汚さないことです。水を節水することも大切ですが、汚さないということも重要です。世界には、安全、安心な水を飲むことができない人々がたくさんいます。なかには、茶色くにごつた泥水を飲むしかない人たちもいます。それにより病気にかかつてしまう人も少なくありません。私たちが水を汚さないようにできることはたくさんあります。例えば、ポイ捨てをしない、食器洗いするとき生ゴミをそのまま捨てないなど、環境に悪い事をしないということが大切です。みんな一人一人が生活の中で意識するだけで水に困る人が減り、苦しむ人々が少しでも楽に暮らせると思います。

これからも生きていくためには水は必要です。だから、私は今まで以上に水について深く理解し、節水をしていきたいです。これから水不足に苦しむ人々が減っていくことを願っています。